

新型コロナウイルスに 感染したことがある人のワクチン接種 Q & A



☎ 別府市新型コロナワクチン接種コールセンター ☎0120-797-567 〈9時～17時／土日祝日も可〉

Q 新型コロナウイルスに感染したことがある人は、新型コロナワクチンを受けることができるの？

A 接種回数に関わらず、新型コロナウイルスに感染した人も、ワクチンを接種することができます。

Q 新型コロナウイルスに感染したことがある人も、新型コロナワクチンを接種するメリットはあるの？

A 新型コロナワクチンは、過去に新型コロナウイルスの感染を経験した人にもメリットが大きいことが分かっています。

①感染後でもワクチン接種を受けることで、免疫がさらに強化されます

新型コロナウイルスに一度感染した人でも、獲得した免疫が時間とともに減少したり、新型コロナウイルス自体が次々と変異したりする中で、再度感染してしまう可能性があります。海外の研究では、一度感染した後にワクチン接種した人は、接種していない人より再感染が少なかったという研究結果がでています。このように、感染後でもワクチン接種を受けることで、再感染リスクを減らす効果が期待でき、さらにその効果が長持ちすることも期待できるのです。

③感染したことがあると副反応は強く出るの？

最も頻度の高い副反応として「接種部位の痛み、腫れや赤み」が報告されていますが、これらの症状は過去の感染の有無で出現の違いはありません。一方、「倦怠感」^{けんたいかん}、「頭痛」、「寒気」など接種部位とは関連のない副反応については、「未感染の人」と「過去に感染したことがある人」では後者で頻度が高い傾向がみられました（それぞれの出現頻度は「約25% vs 約51%」、「約18% vs 約38%」、「約7% vs 約30%」）。ただし、感染の有無に関わらず、副反応で入院が必要になるほど重くなった人はこの研究では報告されておらず、いずれも軽症に留まったことが報告されています。

②仮に再感染しても入院が必要な重い症状から体を守ってくれます

仮に新型コロナウイルスに再感染したとしても、ワクチンを接種することで、感染した際の症状が軽くできたり、重症化を予防できる効果が期待できます。再感染しても、ワクチンをしっかりと必要回数接種しておくことで、入院しなければいけないほど症状が重くならないですむ可能性があります。このような理由から、感染歴の有無に関わらず、必要回数のワクチン接種を推奨しています。

④感染後にワクチン接種を受ける際に注意することは？

感染後すぐの時期はまだ体調がすぐれなかったり、他の人にウイルスをうつしてしまったりということも懸念されるので、定められた自宅隔離期間についてはワクチン接種を受けることができません。しかし、隔離期間が終わり、体調が回復すれば、ワクチン接種を受けることができます。その際、事前に検査などを受けていただく必要はありません。

また、一部の副反応は、過去に感染したことがある人の方がその頻度は高い可能性があり、感染後にワクチン接種を受ける人は、接種後に少なくとも1～2日は休みをとるよう準備をしておくとう良いでしょう。

感染後でも必要回数のワクチンを接種することには様々なメリットが考えられる一方、感染後だからこその注意点もあります。

上記の①～④を、ご理解いただいたうえで、ワクチン接種をご検討ください。

(参考) 厚生労働省 新型コロナワクチンQ & A
厚生労働省 新型コロナワクチンQ & A コラム「感染後でもワクチン接種は必要？そのメリットと注意点」